

Homecoming day  
ホームカミングデー

明治大学植物工場基盤技術研究センター 特別講演会

# 農業への企業参入による 効果と未来

2019年

10/27 (SUN)

13:00~15:00

受講料

無料

定員

200名

どなたでもご参加いただけます。

事前予約不要です。当日、直接会場にお越しください。参加者多数の場合は、先着順となります。

会場

明治大学 駿河台キャンパス  
グローバルフロント1階 グローバルホール  
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1

JR御茶ノ水駅 徒歩3分、東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」下車徒歩5分



## プログラム

### ■第一部：基調講演

「明治大学植物工場基盤技術研究センターの活動概要と意義」

講師：池田 敬 (明治大学植物工場基盤技術研究センター長)

### ■第二部：パネルディスカッション

「農業への企業参入による効果と未来」

パネラー：NTTファシリティーズ  
大和ハウス工業  
菱熱工業 各担当者

進行：池田

## コーディネーター



池田 敬

明治大学  
植物工場基盤技術研究センター長  
明治大学農学部 教授

共催

NTTファシリティーズ

(50音順)

大和ハウス工業株式会社

ビタミンファーム 運営主体  
菱熱工業株式会社

後援

千代田区

お問合わせ

明治大学植物工場基盤技術研究センター  
Email: plant@mics.meiji.ac.jp

明治大学 植物工場



## 講座趣旨

農業はこれまでの農家による農産物の生産に加えて、企業による事業となる例が多く見られるようになりました。特にこれまで農業に関わってこなかった「異業種」企業による参入の例が多くなってきています。明治大学「植物工場基盤技術研究センター」は、2009年度、経済産業省「先進的植物工場施設整備事業」により設置され、その事業活動に、啓蒙活動・普及を進める使命があります。

その使命のもと、これまで多くの企業と共同研究という形で農業参入への支援事業を行ってきました。このたび、現在共同研究契約を結んでいる企業とともに、その研究成果を広く還元することを目的とし、シンポジウムを開催します。なぜ異業種から農業参入を目指すのか、そして日本の農業の現状、これからの日本の農業に与える効果など、農業の未来についてディスカッションをしたいと考えています。

## 登壇者



### 池田 敬

明治大学植物工場基盤技術研究センター長  
明治大学農学部 教授  
農林水産省試験場などを経て、2006年より明治大学に勤務。2012年より明治大学植物工場基盤技術研究センター長に就任。



### 田中 徹

株式会社NTTファシリティーズ  
経営企画部 渉外/イノベーション推進室長  
1998年東北大学大学院量子エネルギー工学専攻修士課程卒業。同年NTT研究所に入社し主に通信用電力システムの開発に従事。2015年よりNTTファシリティーズにて、新規ビジネス開拓として植物工場ソリューションを開発中。



### 大塚 貴雄

大和ハウス工業株式会社 建築事業推進部  
営業統括部 農業事業推進室 課長  
1994年3月 明治大学経営学部経営学科卒業後、金融機関、化学メーカー勤務を経て現在、大和ハウス工業の新規事業である農業事業（植物工場）の推進・提案活動を行っている。



### 岡安 晃一

菱熱工業株式会社 専務取締役  
1983年慶應義塾大学経済学部卒業。二級建築士。完全閉鎖型人工光植物工場「ビタミンファーム」を運営。2014年からサラダ・サンドイッチ工場にリーフレタスを供給。農林水産省・フードコミュニケーションプロジェクト・メンバー。

## 明治大学植物工場基盤技術研究センター



センターは、経済産業省平成21年度先進的植物工場施設整備費補助事業の補助金を受け建てられました。食料の安定的供給と農業の産業化を実現化していく「植物工場」の普及拡大を図るうえで、研究開発・技術普及及び人材育成拠点の整備事業として行われたものです。全国の大学・独立行政法人等、日本国内の法人格を有する組織から、本学を含む8件が採択事業者として選定されました。今後、明治大学は植物工場に関する研究開発・人材育成の全国8拠点の一つとなります。



### 基本コンセプト

1. 食の安全安心と安定供給の確保
2. 植物工場の生産コストの低減化と環境・人体に負荷を掛けない生産システムの開発
3. 人材の育成による植物工場普及支援
4. 技術指導、共同研究実施等による植物工場関連中小企業の育成

### 期待される効果

1. 安全で高品質な食料の周年生産・安定供給体制の確立
2. 植物工場生産コストの大幅低減
3. 植物工場生産品目の拡大および高機能化
4. 植物工場関係有用人材の確保
5. 植物工場関係企業の進展による自立的内需依存型地域経済構造への転換促進